



総合福祉センター新館
日曜ボッチャDay
開催中

くわしくは7ページ

参加者が全国障害者スポーツ大会「SAGA 2024」へ出場します！

もくじ

- ◆ 社会福祉法人 明石市社会福祉協議会 からのご報告P 2
- ◆ みなさまの善意に感謝します!! 善意銀行 / 地区社会福祉協議会の総会が開催されましたP 3
- ◆ 地域総合支援センターからのおしらせ
うおずみ総合支援センター / ふたみ総合支援センターP 4
- ◆ 明石の自主製品応援カタログ「TaCCo TaCCo (たっこたっこ)」が完成 / リポート地域活動 出の上ふじの会「ふれあいサロン藤」P 5
- ◆ ボランティア養成講座のごあんない
知的障がい者サポートボランティア / 生活援助訪問型サービス従事者養成研修 / 音声訳 (朗読) / 友愛朗読 / はじめての地域活動講座P 6
- ◆ トライやる・ウィーク IN 明石市社会福祉協議会 / いまこそボッチャはじめませんか「日曜ボッチャDay」開催中!!P 7
- ◆ あかし社協情報アラカルト
法律専門相談 / 障がい福祉事業所自主製品販売のおしらせ / 職員募集情報 / 令和6年度 ひょうごボランティア基金県民ボランティア活動助成P 8

◎ 気象警報の発令などにより、行事・イベントなどが中止・変更になることがあります。事前にお問い合わせください。



この『あかしの社会福祉』は、赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

★広報紙をご入用の方はお気軽に

明石市社会福祉協議会 法人運営課

☎924-9105 FAX 924-9109 ✉daihyo@akashi-shakyo.jp までご連絡ください。

明石市社会福祉協議会

検索



各地域総合支援センター、市民センター、サービスコーナー、コミュニティセンターなどにも設置しています。ホームページからもご覧いただけます。

社会福祉法人 明石市社会福祉協議会からのご報告

令和6年度(2024年度) 事業計画と予算

重点的な取り組み

① 住民と一緒に考え、誰もが参加できる地域福祉活動のしくみづくり

ボランティア連絡会、地区社会福祉協議会、社会福祉法人連絡協議会等の関係団体との協働と各校区の生活支援コーディネーターとの連携を意識した事業展開を図り、新たなボランティアの参画を目指します。

災害ボランティアセンターの立上げ訓練・運営訓練をボランティアとともにおこないます。能登半島地震災害救援活動等に職員を派遣し、被災地支援をおこないます。

② 住民の声を受け止め、寄り添う、包括的な相談支援体制の構築

地域で暮らす高齢者や障害者、認知症の人やそのご家族、ヤングケアラー等複雑化・複合化した課題を抱える住民や世帯に適切な支援がおこなえるよう、多機関や地域住民との協働による包括的な相談支援体制を構築する取り組みを引き続きすすめてまいります。

③ 地域共生社会の伴走者であり続けるための、明石市社会福祉協議会の体制強化

本会が抱える課題解決にむけて、組織横断的にチームを立ち上げ、事業案を検討します。

- (1) 就職フェアの開催
- (2) 自主財源の確保と自主事業の展開
- (3) 総合福祉センターの充実

令和5年度(2023年度) 事業報告と決算

重点的な取り組み

① 地域での見守り訪問活動の充実

ひとり暮らしの75歳以上高齢者宅や支援の必要がある世帯に、月1回訪問し、安否確認をおこなうとともに、困りごとをうかがい、適切な機関につなぎ、訪問をおこなう「見守りサポーター」も認知され、民生児童委員から声かけされたり、相談を受ける機会も増えるなど、新たな見守り資源の一つとして活動をすすめることができました。

② 地域共生社会実現のための重層的支援体制整備事業の推進

生活のしづらさを抱えた人や複合的な問題を抱える世帯等の相談を、多機関協働事業者である地域総合支援センター本部で受け付け、役割分担や支援方針等について関係機関と協議し、継続的な支援を実施しました。

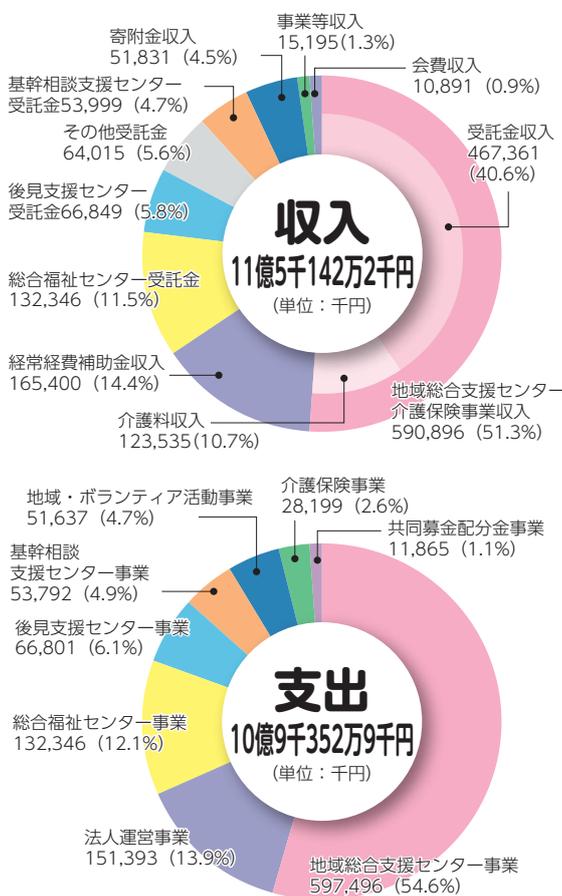
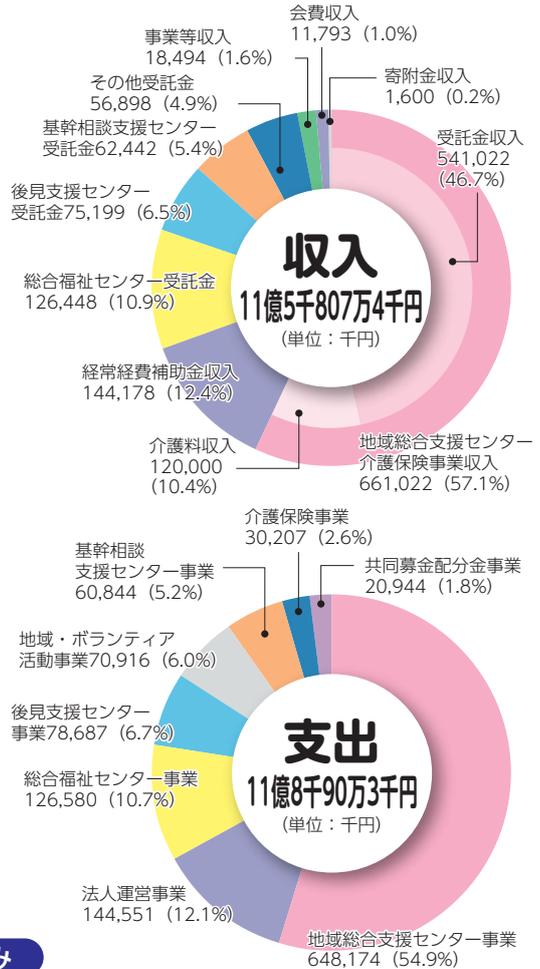
③ 終活や死後事務に関する相談支援体制の構築

後見支援センターに専門の相談窓口を設置し、終活に関する相談や情報提供をおこないました。また、死後事務契約など、専門的な相談にも応じられるように、弁護士、司法書士による無料相談を定期的に開催しました。

④ 生活困窮者支援に関する支援の構築

新型コロナウイルス特例貸付をはじめ、生活福祉資金の償還が困難な世帯に対して償還免除や償還にかかる相談支援をおこなうとともに、新たな生活困窮者支援事業の検討にむけて、新型コロナウイルス特例貸付を利用した方を対象にアンケートを実施しました。

くわしくは、明石市社協ホームページ「社協とは」のページをご覧ください。



みなさまの 善意に感謝します!! 善意銀行

令和6年3月~6月(預託日順)

金銭預託 8名 630,522円 ●福富 祐子 様 ●谷八木友愛 様
●貴崎小学校地区社会福祉協議会 様
●日置運送株式会社 様 ●匿名4名

物品預託 19名 お米、食料品、日用品、介護用品、子ども用品 など

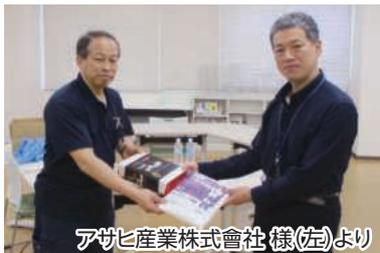
- 生活協同組合 コープこうべ 様 ●ヒラキ株式会社 岩岡店 防犯室 水元 一樹 様
- 川崎重工業株式会社 明石工場 様 ●ニュークリエーションセンター 明石教会 様
- KOHYO 明舞店 様 ●特定非営利活動法人 音楽工房 宙 様 ●伊藤 博 様
- 藤本 健佑 様 ●アサヒ産業株式会社 様 ●日原 紘 様 ●株式会社マルハン明石 大久保店 様 ●匿名8名



寄付時の
写真はコチラ

物品払出 18件

次回のフードライブ
譲渡会は、9月27日(金)を
予定しています。



アサヒ産業株式会社様(左)より



川崎重工業株式会社 明石工場 様(左)より

お米や食料品、体温計の寄付を受けた団体の
みなさんより、お礼の写真が届きました。



金融機関で
善意の寄付金を
受け付けています!

窓口でも!

振込みでも!

三井住友銀行(0009) 明石支店(425) 普通口座1317797
口座名義:社会福祉法人 明石市社会福祉協議会

フク) アカシシヤカイフクシキヨウギカイ

◎ お振込みの際はお名前の前に「ゼンイ」とご記入ください。

- ※ 振込手数料は寄付者様にてご負担いただきますようお願いいたします。
- ※ ご寄付については、税制優遇措置の対象となります。
- ※ 領収証を希望される場合は、本会までお問い合わせください。

地区社会福祉協議会の総会が開催されました

地区社会福祉協議会では、みなさまよりいただいた会費
や赤い羽根共同募金の配分金により、サロンなどへの助成
や福祉スクール、見守り訪問、多彩なイベントなどをおこ
なっています。

身近な福祉活動を展開していただいている地区社会福
祉協議会のみなさんを応援するとともに、地域のイベント
などに参加して、交流をしてみませんか。



地区社協の総会の様子



ふれあい訪問

問合せ

地域支援課

☎924-9105 FAX 924-9109

地域総合支援センターからのお知らせ

うおずみ総合支援センター

令和6年4月23日(火)に、男性向けの健康講座、題して「おやじのための健康講座」を開催しました。

テーマは「酒」。講師には、地元魚住町金ヶ崎で300年以上の歴史をもつ西海酒造から代表の西海太兵衛さまにお越しいただき、時間いっぱい余すことなく「酒」について語っていただきました。

酒の種類や歴史、杉玉の由来などの一般的な知識から、「太兵衛」襲名の裏話や西海酒造こだわりの酒造りまで、普段は聞くことができない蔵元のお話に参加者のみなさまは真剣に耳を傾けられました。

会場には実物の米や杉玉、酒瓶などが展示され、休憩時には甘酒の試飲をするなど、体験も含めて「酒」を満喫した90分となりました。

この講座をきっかけに、ご自身やご家族の健康を考えていただくことにつながりましたら幸いです。



ふたみ総合支援センター

令和6年3月8日(金)に、個人向けオレンジサポーター養成講座を開催しました。

今回は認知症を患っている当事者が、語り手としてインタビュー形式で実体験を話していただきました。「(認知症の進行を実感し)このままでは人に迷惑をかけると感じた」、「認知症自体は痛くも痒くもないが、何事に対しても面倒くさいと感じてしまう」といった当事者でなければ話せないようなお話を聴かせていただきました。

参加された方からは、「当事者の気持ちを理解することが大切」、「認知症の方も何とか日々の中で工夫をしながら生活していることがわかった」などの声が聞かれ、自分一人ではないと安心感を抱いていただくことができました。

ふたみ総合支援センターは、このようなつながりが生活の支えとなるよう、今後も地域のみなさんと活動を続けてまいります。

オレンジサポーター養成講座

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症を患っている当事者やそのご家族に対して、できる範囲で手助けするサポーターを養成するものです。従来の自治会や学校、企業など団体からのご依頼で開催するかたちではなく、個人で自由に参加できる形式となっています。

問合せ 地域総合支援センター

あさぎり・おおくら ☎915-0091 FAX 915-0092
 きんじょう・きぬがわ ☎915-2631 FAX 915-2632
 にしあかし ☎924-9113 FAX 925-2799

おおくぼ ☎934-8986 FAX 934-8987
 うおずみ ☎948-5081 FAX 948-5082
 ふたみ ☎945-3170 FAX 945-3171

明石の自主製品応援カタログ



障害福祉サービス事業所の
自主製品カタログを
8年ぶりに更新!

このたび、明石市地域自立支援協議会のしごと部会が障害福祉サービス事業所における工賃(給料)向上と障がいに対する理解促進を目的に、1年間かけてデザインとともに、刷新をおこないました。

この「自主製品応援カタログ」には、「商品を通じて気持ちを伝える」、「人と人がつながる」、「人と地域がつながる」などの想いが詰め込まれています。

つくり手の想いがこもったこのカタログを手にしていただければ、作業所で働くみなさんの仕事となり、やりがいへとつながります。ぜひ、ご活用いただければ幸いです。



スマートフォンやパソコンからご覧いただきやすいようにデザイン構成などを工夫しています！
ぜひアクセスしてください！！



問合せ 基幹相談支援センター(明石市地域自立支援協議会 しごと部会 事務局)
☎924-9155 FAX 924-9134

レポート地域活動 出の上ふじの会「ふれあいサロン藤」

「ここに来なあかんから病気なんてしてられへん」。

素敵な笑顔でそう話されるのは、このたび取材させていただいた「ふれあいサロン藤」のみなさんです。「高齢者の居場所づくりを」と、平成3年に若林公民館で始まったサロン活動は、より地域の身近な場所に移し、今日まで活動を続けられています。

地域密着で活動しているからこそその見守り合いや情報交換、みなさんがその場に行くことを楽しんでおられることがなよりの魅力です。

「ふれあいサロン藤」へ行けば、人と会って話すこと、笑うことが認知症予防、健康と美しさのコツだということが伝わるはずです！



問合せ 地域支援課 ☎924-9105 FAX 924-9109

ボランティア養成講座のご案内

養成講座名	内容	開催日程	場所
知的障がい者 サポートボランティア	明石市立木の根学園の職員が講師となり、知的障がいのある人の生活の理解や、どのようなサポートができるかについて考えます。	①8月17日(土) ②9月14日(土) ③11月9日(土) 全3回	①②明石市立 総合福祉センター ③社会福祉法人明桜会内
生活援助訪問型 サービス従事者養成研修	軽度の介護認定を受けた高齢者の自宅を訪問し、掃除や買い物代行などの日常生活の援助をおこないます。	①9月12日(木) ②9月19日(木) ③9月26日(木) ④10月3日(木) 全4回 10時00分～16時30分	グループホーム 清華苑ポートピア (社会福祉法人 三幸福社) (大久保町大窪544-1)
音声訳(朗読)	視覚障がいへの理解を深めるとともに、朗読による情報提供の基本的な技術を学びます。	9月19日(木)～11月21日(木) 毎週木曜日 全10回	明石市立総合福祉センター
友愛朗読	朗読に必要な技術を習得し、福祉施設などに出向き、対面朗読をとおして「一緒に声を出して読む楽しさ」の基本的な技術を学びます。	①10月4日(金) ②10月11日(金) ③10月18日(金) ④10月25日(金) 全4回	明石市立総合福祉センター
はじめての地域活動講座 ～地域活動ってどんなもの?～ @魚住東コミュニティセンター	市民講座として、ちょっと気になる地域の困りごとについて考えます。	①10月12日(土) ②10月19日(土) 全2回	魚住東コミュニティセンター

★くわしくは、開催時期のおおむね1か月前より、「本会ホームページ」・「広報あかし」にて、お知らせいたします。

多彩な講座を開催しました！

ボランティア入門講座

5月12日(日)・19日(日)
アスピア明石

地域ボランティアのみなさまを講師としてお迎えし、ちょっと気になる地域の困りごとについて考える講座を開催しました。



【参加されたみなさんの声】

- 一步を踏み出す勇気が出た！
- 自分にできることをやってみたいと思えました。
- 高齢者の認知症、フレイル予防に関心をもって地域の中で取り組んでいきたいと思えました。

はじめての地域活動講座

～地域活動ってどんなもの?～ @望海コミュニティセンター
5月22日(水) 望海コミュニティセンター

あかねカレッジライトコースのなかで、ちょっと気になる地域の困りごとについて考える講座を開催しました。



【参加されたみなさんの声】

- 実際のボランティア活動が聞けて気負いがなくなりました。
- 自分にできることは小さなことだが、それが大事だと感じる事ができました。

社会福祉法人と協働したボランティア養成講座

5月29日(水) 養護老人ホーム 明石愛老園

明石愛老園さまの協力を得て、福祉施設での体験をとおしてボランティア活動について考える講座を開催しました。

【参加されたみなさんの声】

- 施設の中で入所者と一緒にやりたくてもできないことを、一緒に楽しく活動したいと思いました。
- はじめはハードルが高かったけど、具体的な活動内容が知れてやってみようと思いました。



1週間の
職業体験

トライやる・ウィーク

令和6年6月3日(月)~7日(金)

総合福祉センターの
しごとや
ボランティアを
体験しました!

明石市立大蔵中学校、明石市立明石養護学校の2人が1週間の職業体験をおこないました！
総合福祉センターの仕事や、ボランティア体験をとおして、さまざまな福祉活動を学びました。



明石養護学校 森脇 歩真 さん



点字教室で点字体験

目標をもってトライやる・ウィークに来て、1週間で私は「あたりまえ」の大切さを学びました。
あいさつなど身近なことや、利用者さんの方々と点字やボッチャをしてあまり関りがなかったこともできて、障がい者だからという目で見ず、自分と相手のコミュニケーションも大切だと思い、また次の目標も決め学んでいきたいです!

谷垣 凜さんより



ふれあい会食
「よっといで」でボランティア体験



大蔵中学校 谷垣 凜 さん

トライやる・ウィークでの体験をとおし、職員さんや地域の方々との交流を持つことで、本人の障がいについても知ってもらう良い機会になりました。
また、地域とつながることで毎日安心して笑顔で過ごす大切さを改めて感じました。

森脇歩真さんのご家族より

問合せ

明石市立総合福祉センター本館

☎918-5660

FAX 918-5661

いまこそ
ボッチャ
はじめませんか?

日曜

ボッチャDay

開催中!!

開催日

第4日曜日

終日開催

総合福祉センター新館では、高まるボッチャ人気にお応えし、毎月第4日曜日に「日曜ボッチャDay」を開催しています。自由に参加でき、初心者の方も気軽に参加していただくことができます。



スポーツインストラクターの
指導で初めての方でも安心。

参加者のことば

日曜日に親子で楽しむ時間が増えました。

毎回20人以上の方がボッチャを楽しみに訪れています。

いろいろな方と交流する機会ができてうれしい!

大好きなボッチャが日曜日にもできてとてもうれしいです!

Night ボッチャDay も開催中

第3水曜日

18時00分~
20時00分



第18回兵庫県障害者のじごくスポーツ大会
ボッチャ 立位の部 優勝

谷口 雅之さん (76)

(全国障害者スポーツ大会 [SAGA2024] 兵庫県代表)

新館から全国大会へ!

総合福祉センター新館ボッチャ愛好者の谷口さんが、全国大会に出場されることになりました。

ボッチャとの出会いは、3年前の新館ボッチャ教室。今では、ボッチャ教室だけでなく、「NightボッチャDay」や「日曜ボッチャDay」にも参加され、5月の県大会で優勝を飾り、全国大会への出場が決定しました。

「スポーツの大会で優勝したのは生まれて初めて」と喜びを語ってくださいました。

問合せ

明石市立総合福祉センター新館

☎927-1125

FAX 927-1126

あかし社協情報アラカルト

法律専門相談 (面接・要予約・無料)

弁護士・司法書士が、成年後見・財産管理・遺言・終活などの権利擁護に関する来所相談に応じます。(時間は45分程度)



■ 終活に関する相談…………… 第1～3火曜日

■ 後見・相続遺言などに
関する相談…………… 第1～4木曜日

13時30分～15時30分 ※祝日・年末年始を除く。

問合せ

明石市後見支援センター

☎924-9151 FAX 924-9134

障がい福祉事業所自主製品販売のお知らせ

明石市立総合福祉センター 月～金曜日 11時00分～13時00分(売切れ次第終了) ※祝日・年末年始を除く。

販売品目	場所	販売団体
弁当、パン、クッキー、ケーキ、雑貨など	本館1階ロビー	・きっちんそら・木の根学園・こぐまくらぶ ・就労支援あいち・にじ作業所 パン工場なないろ ・LOVE&PEACE
パン、クッキー、ケーキなど	新館2階 軽食・喫茶 なかま	きっちんそら

くわしくは
コチラ



※ 販売団体等の都合により、販売日時及び販売品目が変更又は休止となることがあります。

(令和6年6月末日現在)

問合せ

明石市立総合福祉センター本館

☎918-5660 FAX 918-5661

職員募集情報

人物重視
面接のみ

常勤契約職員 (令和6年6月末日現在)

募集職種 介護予防支援ケアマネジメント専任者

必要資格 以下いずれかの資格が必要

介護支援専門員・主任介護支援専門員
社会福祉士・保健師・看護師

※看護師については要件あり



入職日 応相談 (試用期間2か月) 試験日 随時実施します

給与等 月額 226,390円 ※各種保険加入

勤務地 地域総合支援センター (市内6か所)

勤務時間 8時55分～17時40分 (休憩1時間)

年間休日 129日 (土・日・祝および夏季休暇6日)

その他 非常勤職員・パート職員も募集しています。
くわしくは、お問い合わせください。

問合せ 地域総合支援センター 本部
電話 924-4501 FAX 924-9114

さまざまな専門職と協働し、
力が発揮できる業務です!



くわしくは、本会ホームページの
「採用情報」をご覧ください ▶

令和6年度 ひょうごボランティア基金 県民ボランティア活動助成

7月1日(月)より、「令和6年度 ひょうごボランティア基金 県民ボランティア活動助成金」のエントリー(事前申込)がはじまりました。助成金の交付を希望するグループ・団体は、本会の窓口にてエントリー(事前申込)が必要です。

■ 申請条件(※1)

- 法人格を持たないボランティアグループ・団体であること。
- グループ・団体・代表者の住所が県内であること。
- 団体の構成人数が5人以上であること。
- 「助成対象となる活動分野(※2)」であること。
- 令和6年4月1日～令和7年3月31日までの間で、ボランティア活動を12日以上おこなっていること。
- 助成対象経費の支出が4万円(税込金額)以上あること。
- 当該助成金以外に、会費や助成金等をもって活動にかかる経費に充当していること。

※1 くわしくは、「ひょうごボランティアプラザ」のホームページをご参照ください。

※2 「県民ボランティア活動助成案内リーフレット」をご参照ください。



ひょうごボランティアプラザ

問合せ 地域支援課 ☎924-9105 FAX 924-9109